

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪 定期巡回)

2022 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼで きてい	こ でき てい ない	な 全 く で きてい		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				10の基本ケア10章「ターミナルケア」にあるように自宅での看取り可能にするためのチーム体制づくりをしています。	
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			法人及び事業所の理念・方針などについては、毎月全職員を対象に会議を開催しおこなっています。毎月2回実施。主任には毎月業務改善会議を実施。	見受けられます
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している			○		育成を目的とした全体研修を年間計画に取り入れています。法人の研修計画が年間計画で作成されています。	研修に参加されていることが見受けられる。年間計画も確認しました。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			職員の働き方などに関する相談調整を行っています。正規は全員年2回以上、パート職員も2回以上の個別面談を実施しています。	配慮されているとみられる
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			ホワイトボードの活用や申し送りに加え、定例会議などを通じて職種間の情報交換や共有を行っています。情報ツールとして端末を使っています。	見られる
(3) 適切な組織体制の構築								

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪 定期巡回)

2022 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼでき てい	でき てい ない	全 く でき てい ない		
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			利用者の状況に合わせてケアの内容や訪問時間を変更し、常にヘルパー間で情報の共有を行っています。	外部からは柔軟に対応してもらっていると見受けられる
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から会議自体の開催が実施できていません。1回は中止1回は実施しています。	改善策など反映が見られる
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				情報共有システム(スラック)を使用し迅速な対応が可能になっています。他の部門にも共有が必要な場合は事業所全体の共有システムガルーンを活用。	
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			防災マニュアルや緊急連絡網を作成し有事の対応に備えています。夜間訪問時の防犯対策としては複数での訪問など工夫をしています。また、夜間など不安な時は2人で対応しています。	職員の安全確保などみうけられます。

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪 定期巡回)

2022 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼで きてい	でき てい ない	全 く でき てい		
利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			年間研修計画に盛り込み、その取扱いと方策について学習を行っています。個人ファイルは鍵付きの書庫で保管をしています。事務長が定期的にチェック	保護はされています。
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			個別ケアを進めています。状況に合わせた支援が行えるよう努めています。看護師にもアドバイスをもらい実施しています。	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			看護の内容も増えてきていますので毎月のアセスメントは介護主任と看護師で実施するよう努めています。	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			自立支援に向けたケア計画の作成に努めています。基本は在宅(自宅)を軸として考えています。	
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			重度化しないように早いうちから計画作成に努めています。	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				提供日時以外でも依頼があればすぐに対応できるように体制を整えています。看護サービスはオンコール体制を取っています。	

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪 定期巡回)

2022 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ できてい	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い		
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護職員によるモニタリングを毎月実施しています。モニタリング結果はケアマネに伝えて計画に反映してもらっています。	

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪 定期巡回)

2022 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼで きてい	こ でき てい ない	な 全 く で きてい		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			介護職員は、生活動作や生活環境、活動などについて、看護職員は健康状態や疾患、内服などの視点から本人の生活全般を観察して個別ケアに努めています。もちろん情報の共有もしています。	
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			5人の看護師が共通認識を持ち医療面からの助言をしてもらっています。	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			初回面談や契約時、ケア計画の説明時などを通じてケア内容の説明と同意を行っています。定期的に再確認をすることにも努めています。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画作成時並びに変更時に随時説明を実施しています。日々の細かな状況報告や説明が即時に行えず、後手にまわることもありますので引継ぎを必ずおこない、次の職員が伝えるような仕組み作りをしています。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				コロナ禍ということもあり、適宜家族・ケアマネジャーへの報告と相談はできるだけ早く行うようにしています。	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪 定期巡回)

2022 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ でき てい	でき てい ない	全 く でき てい		
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			変化に応じて情報共有を実施するよう努めています。本人の意向を最優先しています。	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用や提案は積極的にできています。コロナ禍ということもありボランティアも制限。	
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			計画状況の再確認を行うと共に情報共有の場として活用しています。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○				
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			入退院や入退所時には、積極的にカンファレンスに参加(提案)を行っています。退院直後はショート利用、そして自宅復帰と訪問など多職種連携で在宅復帰に務めています。	

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪 定期巡回)

2022 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼで きてい	でき てい ない	全 く でき てい		
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている (※任意評価項目)		○			在宅生活の継続は重要であり、定期巡回を柱にして多職種(デイやショート)そして地域の方と1人の高齢者を全体で見るように努めています。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			法人ホームページで閲覧できるように努めます。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		春に4回と秋に4回、地域の方を対象に地域学習会を開催しています。	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			奈良の地域包括ケアシステム協議会の主催する学習会に参加し理解を深めています。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			在宅で生活が継続できるようにすることが最優先にしています。	

自己評価・外部評価 評価表 (あすならハイツ恋の窪 定期巡回)

2022 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼ でき てい	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い		
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)		○			①地域住民向けに、コープの移動店舗を導入。また、地域の祭りなどにも参加しています。	
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			自宅で生活できるように努めています。長期目標が達成できるように、短期目標を積極的に進めています。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			テレビ電話の活用で、安心して自宅で暮らし続けられるよう支援しています。	